

## XETP1D/XETP1DR バッファサイズ設定について

このたびはデジタル簡易無線機 XETP1D、XETP1DR（受信専用機）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本機は、GNSS 受信機が取得した大容量の衛星データを送信することが可能となる 1024 バイトモードに対応しています。  
お買い上げいただいた状態（デフォルト値）は通常の 512 バイトモードになっていますので、ご利用になる場合には設定の変更が必要です。

### 【1024 バイトモードへの切り替え手順】

1. セットモードに設定します。一度電源を切り「SET」キー⑥を押しながら電源⑦を入れることで、セットモードになります（ディスプレイに「SET MODE」と約 2 秒間表示されます）。
2. 「▲」・「▼」キー③を押して、「バッファサイズ」の項目を表示させます。
3. 「SET」キー⑥を押して、設定値を点滅させます。
4. 「▲」・「▼」キー③を押して、設定値を“512”から“1024”に変更します。
5. もう一度「SET」キー⑥を押して設定内容の点滅を止めると設定が決定します。
6. コントローラーの「キャンセル」キー①を押すとセットモードからデータ伝送できる状態に戻ります。

SET MODE

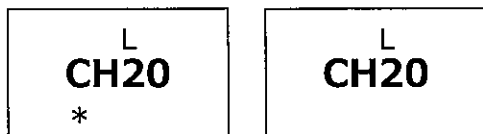
バッファサイズ  
512

バッファサイズ  
1024  
\*

※512 バイトモードに戻す場合は再度セットモードを起動して変更してください。

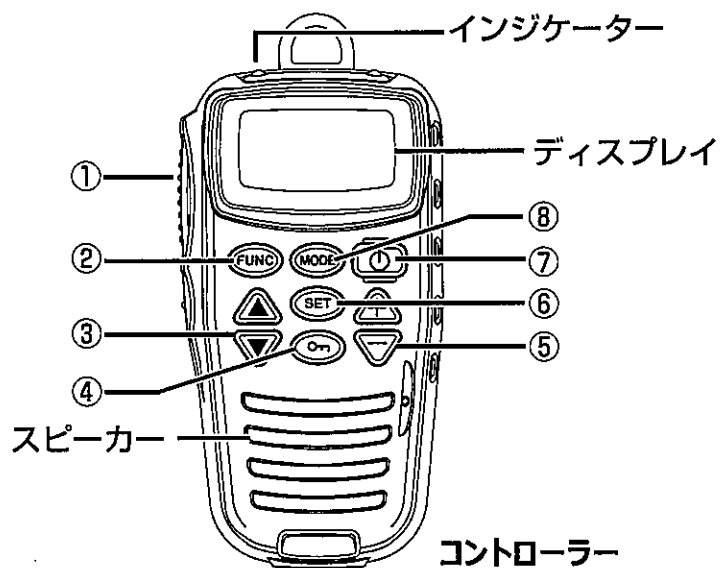
### 【データ送受信中の画面】

1024 バイトモードに設定されている場合には、ディスプレイ下部に“\*”が表示されます。



1024 バイトモード

512 バイトモード



### 【GNSS 受信機内蔵無線・対応表】

1024 バイトモードのご利用には、XETP1D/XETP1DR 含むすべての無線機（GNSS 受信機内蔵無線含む）が新しい機能である 1024 バイトモードに対応している必要があります。対応製品は下表をご参照ください。

モード	対応製品	送信可能衛星数	送信間隔
512 バイトモード	HiPerV/GRX2（デジタル無線内蔵タイプ） GR-5/Sokkia ATLAS	20～25 衛星	1 秒
1024 バイトモード	HiPerHR（デジタル無線内蔵タイプ） HiPerVR/GRX3（デジタル無線内蔵タイプ）	40～50 衛星	2 秒

(1) 1024 バイトモード対応機は、512 バイトモードでもご利用になれます。

(2) 送信可能衛星数は、GNSS 受信機に設定される信号周波数（例：L5 信号設定の追加等）と補正データフォーマット（推奨：RTCM3.2 MSM3）により変動します。

2020 年 5 月

株式会社トプコンソキアポジションングジャパン

EX00580030